

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和5年度	事業年度	令和4年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	発達支援事業		整理番号	1307-016		
第2次 総合計画体系	政策目標	1 健やかに暮らせるまち	担当部署	健康づくり課		
	分野別施策	3 子ども・子育て支援の充実	所属長	戸澤 幸代		
	主な施策	3 子どもと母親の妊娠期からの健康の確保	電話番号	82-6323		
根拠法令等	母子保健法					
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金等	
事業継続年数	事業開始年度	平成18年度	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input type="checkbox"/> 6年～10年	<input checked="" type="checkbox"/> 11年～20年	<input type="checkbox"/> 21年以上

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 具体的に誰(なに)を	発達支援事業 育児相談 発達相談 発達検査の実施 (2歳児歯科健診、3歳児健診等、健診後に保育所に入所していない子どもで、集団療育や個別療育を希望される方)	対象者	健診後に必要な対象者・希望者
事務事業の目的 どのような状態にしたいのか	次世代を担う東みよし町に住む子どもたちが健やかに育つ支援をする。 健診後の事後指導を充実させ、保護者の負担を軽減させる。		
事務事業の内容 どのような方法・手段で 事務事業を行ったか	臨床心理士による育児相談・発達相談と発達検査、各種健診を実施している。(主に3歳児健康診査時に母子の必要性に併せて案内しており、育児に悩む保護者の相談や子どもの特性を保護者自身が理解し子どもにあった育児につながるように本事業を実施している。必要な児童には療育センターの案内も実施。) 徳島県障害児等療育支援事業の実施主体の社会福祉法人池田博愛会すぎのご訪問による療育指導の事業として、「健診後の子育て教室 のびのび」を実施している。(主に保育所等の利用がなく集団経験の少ないケースに案内。) 3歳児健診時には、市立三野病院の言語聴覚士による聴力及びことばの確認を行っているが、その後のフォローや1歳6か月健診時に言葉の不安を持つ者に対して、新たに言語聴覚士1名と委託契約を行い言語訓練の支援につなげている。		
事務事業の成果 結果・実績はどうか	令和4年度 実績 育児相談件数:実人員 45人 延べ 85人 のびのび教室:14世帯 18人 延べ 92人参加 言語フォローアップ 45人		
特記事項			

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	令和3年度		令和4年度(評価対象年度)		令和5年度(見込)								
事業費【(a)～(e)の合計】	691,939	うち繰越分↓ 0	843,260	うち繰越分↓ 0	1,115,000	うち繰越分↓ 0							
財源内訳	国庫支出金(a)	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓							
	県支出金(b)	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓							
	地方債(c)	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓							
	その他(d)	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓							
	うち受益者負担	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓							
	一般財源(e)	691,939	うち繰越分↓	843,260	うち繰越分↓	1,115,000	うち繰越分↓						
特定財源の名称・金額													
令和4年度 経費の内訳 事務事業に係る経費の詳細	予算科目(歳出区分)	会計	1	一般会計	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	母子保健費
	医師等謝礼 740,000円 検診業務委託料 102,000円 通信運搬費 1,260円												
備考													